

文学館だより

令和元年 6月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

あをばといふ山の鳥啼くはじめ意く終りを知らぬさびしき音なり

『独り歌へる』『別離』収録。 明治42年6月作

ピアノの音色、7年ぶりによみがえる

文学館開館以来、ラウンジに鎮座しているグランドピアノがある。
「ここでコンサートができますね。」「ここで歌いたいです。」との声を何度か聞いてきた。
手入れされることなく眠り続けてきたグランドピアノが、ついに7年の年月を経て美しい音色を取り戻した。

今年度に入って間もない4月中旬のこと。延岡市在住、児玉重信、幸子夫妻が文学館を来訪されました。

「お願いがあります。ピアノの調律をさせてください。
費用は私が負担しますから。」と、懇願されたのです。
突然の申し出に、私たちはただただ困惑するばかり。

さらに、児玉さんの話は続き、
「みんなに牧水の『しら鳥の歌』を弾いてほしい。
そして歌ってほしい。」とおっしゃるのです。

ありがたいお話ではありますが、費用もかかることだし、
甘えてよいものかと決めかねていましたが、あれよあれよ
という間に話は進み、5月7日（火）、調律をお願いする運
びとなりました。もともと東郷地区文化センターホールに置かれていたこのグランドピ



児玉重信、幸子夫妻



調律を終えて

児玉ご夫妻と福山調律師（右前）
とご友人藤本さん（前中央）

アノ。設置するのにふさわしい場所として、ここ文学館に引越してきたようです。
7年ぶりに手が施され、音程ふぞろいの違和感からようやく
解消されました。奥様奏でるピアノに合わせ、ご主人の『しら
鳥の歌』がラウンジいっぱい響き渡りました。

おことばに甘え、児玉ご夫妻には、全般にわたり大変お世話
になりました。厚く感謝申し上げます。

調律師の福山さん、丁寧で繊細な職人技によって美しい音色
をよみがえらせてくださいました。本当にありがとうございました。

児玉ご夫妻との出会いは、今から4年前。私が勤め始めて1ヶ月経ったばかりの5月、
今と変わらずお二人そろっての来館でした。『4.6.29』『牧水生地 東郷村』『牧水記念館』
のスタンプが押された2枚の色紙をいただいたことが始まりで、来館のたびに手づくり
の品を用意してきてくださいました。

そればかりではありません。児玉ご夫妻と言えば、奥様がピアノを弾き、それに合
わせてご主人が『しら鳥の歌』を歌うということが定番なのです。プロになりたかった
というだけあって、声量も歌のうまさも抜群です。

まだまだ書き足りませんが、このようなご縁から当文学館のピアノをご心配いただき、調律のお
世話をいただいたという訳なのです。
しかしながら、なかなかできることではありません。いいえ、ここまではしませんよね。人とか
かわりを大切にされる児玉ご夫妻だからこそできることなんだと私は思います。

美しい音色がよみがえったピアノ。

ミニコンサート実現の日が来ることを祈りつつ・・・



「ふるさと再発見」 日向市立美々津小学校6年生編

「日向市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、若山牧水記念文学館ほかを見学し、牧水の魅力や本物の芸術・文化に触れることをとおして感受性を磨くとともに、ふるさと日向市の良さを再発見することにつなげる」を目的として日向市教育委員会の事業として昨年度から始まりました。

5月は小学校6校が来館されました。ありがとうございました。

今回は美々津小学校の見学の様子をお伝えします。

美々津と言えば・・・

①牧水が幼少の時、初めて海を見たのが美々津の海であったこと

②牧水の祖母カメが美々津生まれであったこと

など、美々津の地とかかわりがあったことを紹介すると、みんなの表情が引き締まりました。牧水を身近に感じたからではないでしょうか。

展示室では、大きな声で声をそろえて短歌を読んだり、前のめりになって展示品に見入ったりと意欲的な見学風景でした。自由見学でも、私語をする児童は一人もおらず、説明パネルを視写する熱心な姿が多く見られました。

かるた100首以外で初めて知る短歌との出会いもあったようで、発見、感動の1時間半になったようでした。

あなたは牧水先生の短歌でどの歌が好きですか・・・

今日初めて知ったことはどんなことですか・・・

もっと調べてみたいと思ったことはありましたか・・・



伊藤一彦館長 受賞

祝 井上靖記念文化賞・特別賞



作家井上靖氏の業績と遺志を継ぎ、地域文化の発展に貢献した人に贈る「第3回井上靖文化賞・特別賞」に当文学館長伊藤先生が選

ばれました。

「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」等を通して高齢者やその家族に喜びを与えた活動、全国の高校生が競う「牧水短歌甲子園」の発案などの業績が認められた受賞でした。5月18日（土）井上靖出生地、北海道旭川市にて贈呈式が執り行われました。（宮崎日日新聞参照）

伊藤先生、おめでとうございます。

「みなと展」開催中です



先月号でお知らせした「みなと展」をただいま開催しております。短歌甲子園から船出した若者たちがそれぞれの地で今でも短歌を詠み続けています。お近くの方、見に来られませんか。観覧無料です。

「ありがとう つぼやっ子」 生家周辺がきれいになりました



先月15日（水）、坪谷小学校校長先生をはじめ6名の先生方と全校児童16名のつぼやっ子たちが牧水生家清掃をしてくださいました。班ごとにめあてを決めたのち、それぞれの場所で一生懸命活動してくれました。終了後の牧水先生の歌斉唱は川を隔てた文学館までしっかり届きました。つぼやっ子のみんな、ありがとうございました。